

デジタルイノベーション推進計画を策定しました

～誰もがデジタル化の利便性を享受し、豊かさを実感できるまちをめざして～

問合せ先 行政改革課 (☎ 76 - 1113)

社会の変化に対応し、「Tech (テクノロジー)」をまちづくりに積極的に活用することで、誰もがデジタル化の恩恵や利便性を享受できる状態を創出し、市民が「豊かさ」を実感できるまちを目指します。



Komaki

「TECH=テクノロジー」をまちづくりへ

× TECH

まちづくり × TECH
行政サービス × TECH
行政経営 × TECH

小牧市は、テクノロジーを「まちづくり」「行政サービス」「行政経営」の3つの分野に効果的に取り入れることで、ICTやデータの積極的な活用を推進していきます。

【3つの指針】

指針

1

デジタルバイデフォルト

真に利便性の高いサービスを実現するため、これまでのサービスの在り方や手続方法を見直します。新たに実施していく取組については、費用対効果を考慮し、デジタルを基本かつ原則として実施していきます。

指針

2

データの利活用推進

データの活用を円滑にするため、市が保有するデータの把握、整理を行い、「使用できる形でのデータを保持」します。データを収集・作成・蓄積する段階からデータの活用・公開を前提とした業務を行います。

指針

3

ユーザビリティの追及

情報格差(デジタルデバインド)に配慮し、利用者の立場で、使いやすさ・分かりやすさを重視したサービス・業務を設計、提供します。サービス提供後も、随時見直しを行います。

【主な取り組み】

「オンライン申請の拡充」

各種手続について、申請・届出等がオンライン上で完了できるよう、オンライン申請の拡充に向けた環境整備を進めます。

「スマート窓口の導入」

「待たせない」、「書かせない」窓口サービスを実現するため、ICTを活用し、異動手続や証明発行手続等の窓口業務の効率化と市民サービスの向上を目指します。

「新たな施設予約システムの導入 (オンライン予約、抽選機能)」

施設予約に関するルールの見直しを行い、キャッシュレス決済やオンライン予約等に対応した新たな施設予約システムを導入します。

「患者外来受診支援システムの導入」

スマートフォンアプリ等を使った「予約状況確認」、「後払い会計」機能などを持ったシステムを導入することで、利便性を向上させるとともに、外来や会計での待ち時間を削減し、混雑緩和を図ることで、市民病院の患者満足度の向上を図ります。



本計画の詳しい内容は、
市ホームページをご覧ください。

